

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	千葉の里山・森づくりプロジェクト～企業・県民・NPO・行政等の新たな協働による里山循環システムの再構築～		
(2) 実施団体名	千葉県	(3) 対象地域	千葉県の全域、特に京葉臨海コンビナート地域、北総地域
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	

	取組①	里山活動への参加促進
	実施主体	千葉県(企業・NPO・自治体等と連携)
		当初提案により予定していた計画
	実施内容、実施結果	<p>○広域イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 広域的啓発イベントとしてシンポジウム及びフィールド・ワーク開催</li> <li>・実施時期: 平成20年10～11月</li> <li>・実施場所: ①京葉臨海コンビナート地域(千葉市～富津市) ②北総地域(千葉ニュータウン、印旛沼等の周辺地域)</li> <li>・取組の目的 里山活動への参加促進を通じて、生態系の重要さを意識した生活環境の形成に対する住民の理解を深める。 なお、この取組は企業、経済団体、NPO、大学、行政等が連携・協働して行うことによって、里山保全について、農山村住民だけでなく多様な主体が担っていくネットワークの構築に結び付くことを目指しながら進める。 また、プロジェクト参加団体(支援者と事業実施者)の効果的なマッチングが実現する仕組みづくりも同時に行う。</li> </ul>
		実際の取組内容及びその結果
		<p>○広域イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容・時期・場所 ①京葉臨海コンビナート地域(千葉市～富津市) フィールド・ワーク: 平成20年11月: 4箇所: 参加者数: 約300名。 シンポジウム: 平成21年2月28日: 市原市: 企画の成果と今後の展開を討論する予定。</li> <li>②北総地域(千葉ニュータウン、印旛沼等の周辺地域) フィールド・ワーク: 平成20年11月～12月: 2箇所: 参加者数: 約100名。 シンポジウム: 平成21年1月25日: 印西市: 参加者数: 約600名。</li> <li>③九十九里海岸地域(いすみ市、一宮町等海岸地域) フィールド・ワーク: 平成20年11月～平成21年2月: いすみ市・一宮町の海岸: 参加者数: 約100名。 シンポジウム: 平成20年12月6日: いすみ市: 参加者数: 約200名。</li> </ul> <p>※③については、当初開催を予定していなかったが、地元NPO等の意欲の高まりと啓発効果を勘案して追加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の結果: フィールド・ワークへの参加を通じ、地域住民や企業が、生態系のつながりを意識した生活環境の形成への理解が深まった。 また、企業、NPO等を主体的に参画させ、官民協働により開催したことにより、地域のネットワークの形成、支援者と事業実施者のマッチング促進が図られた。</li> <li>○里山活動への参加促進のための広報</li> <li>・実施内容・時期・場所 ①京葉臨海コンビナート地域 新聞広告: 平成21年3月: 発行部数: 約21万部(予定)。対象: 京葉臨海地域等の企業</li> <li>②北総地域 ポスター: 平成20年11月～平成21年1月: 500部。掲載場所: 地元地域の自治体・公共交通機関、企業、商店街。 折込チラシ: 約35,000部。配布対象: 千葉ニュータウン地域</li> <li>③千葉の里山の紹介映像 環境保全活動に携わる映像作家と協働して、千葉の里山の魅力を紹介する映像作品を作成(2月中完成予定)。 放映場所: 空港や各種イベント会場などを予定。</li> <li>・取組の結果 人工的に形成された都市空間に隣接する、貴重な生態系に満ちた里山の存在を、都市住民や企業に知らせることができた。</li> </ul>
(6) 実施した取組の内容	取組②	里山活動や保全技術の向上
	実施主体	千葉県
		当初提案により予定していた計画
実施内容、実施結果	<p>○里山ドクターの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 里山ドクター(専門家)の派遣</li> <li>・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業の実施地域</li> <li>・取組の目的 里山保全に関する高度な知見を有する様々な分野の専門家について、各活動団体等の要望に応じ、計画の策定から実施に至るまで様々なシーンに派遣し、各地域の里山の特性に応じたアドバイスを行なう。</li> </ul> <p>○里山活動研修等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 里山活動研修の実施、里山関連書籍・里山活動用品の作成</li> <li>・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業実施地域</li> <li>・取組の目的 里山活動の指導者を育成するための研修や里山活動に必要な研修を実施する。 また、里山活動を安全に楽しく行なうため、危険防止のための安全マニュアルや里山のガイド等里山関連書籍等の作成を行う。</li> </ul>	
		実際の取組内容及びその結果
		<p>○里山ドクターの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 里山ドクター(専門家)の派遣</li> <li>・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業の実施地域(4地域)</li> <li>・取組の結果 古民家再生、廃棄物対策、崖崩落調査、遊歩道整備等、各分野の専門家を派遣(平成21年1月までに10回・15人)。 地域の里山の特性に応じた保全・活用の検討や計画策定等に向けた取組の熟度が高まった。 参加団体がプロジェクトの地域の担い手として自立的に運営が行なえるよう育成を進めた。 参加団体と専門家とのコネクションが形成されてきている。 平成21年2月以降も、参加団体の要請により里山ドクターを派遣する予定。</li> </ul> <p>○里山活動研修等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容: 里山活動研修の実施、里山関連書籍・里山活動用品の作成</li> <li>・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月</li> <li>・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業実施地域(3地域)</li> <li>・取組の結果 プロジェクト参加団体に対して里山の環境等について研修を行い、育成に努めた。 里山安全マニュアル(1,500部)、里山ガイドブック(1,500部程度)、里山の理解を深めるための読本(150部程度)を作成し(平成21年2月完成予定)、広域イベントやリーディング事業の活動で活用する予定。</li> </ul>

取組③ 実施主体	循環型里山暮らしの促進 千葉県(NPO・大学等と連携)	実際の取組内容及びその結果
実施内容、 実施結果	<p>当初提案により予定していた計画</p> <p>○里山モデル住宅整備プロジェクト ・実施内容: 里山モデル住宅の企画書の作成 ・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月 ・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業の実施地域 ・取組の目的 地域の自然環境や景観にマッチし、人々の心と体に優しい、里山暮らしのモデルとなる住宅整備の仕様企画書を地元企業や大学、行政等と連携して作成する。(平成21年度以降の事業実施にあたっては、事業実施者を公募する。)</p> <p>○里山エコタウン促進プロジェクト ・実施内容: 里山エコタウンの企画書の作成 ・実施時期: 平成20年10月～平成21年3月 ・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業の実施地域 ・取組の目的 耕作放棄により荒廃した田畑・里山が広がる地域に都市住民が移住し、環境に負荷の少ない農法による農業にたずさわり、自然と共生する生活の喜びを味わえる農山村づくりを実現するための企画書を企業等の協力を得ながら作成する。(平成21年度以降の事業実施にあたっては、事業実施者を公募する。)</p>	<p>○里山モデル住宅整備プロジェクト ・実施内容: 里山モデル住宅の企画書の作成 ・実施時期: 平成20年11月～平成21年2月 ・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業の実施地域(いすみ市) ・取組の結果 平成20年11月に学識者や関係分野の専門家による検討会議を設置し、設計コンサルタントと連携しながら、官民協働により平成21年2月までに企画書を作成する予定。実施フィールドは、リーディング事業の実施地域のひとつである、いすみ市となる予定。</p> <p>○里山エコタウン促進プロジェクト ・実施内容: 里山エコタウンの企画書の作成 ・実施時期: 平成20年11月～平成21年2月 ・実施場所: 里山保全活動のリーディング事業の実施地域(長南町) ・取組の結果 平成20年10月に企画を公募してNPOの提案を採択。11月に学識者や関係分野の専門家による検討会議を設置し、官民協働により、企画書を平成21年2月までに作成する予定。実施フィールドは、リーディング事業の実施地域である、長南町となる予定。 また、来年度以降のエコタウンの整備構想の企画提案に結び付くよう、上記以外のリーディング事業実施地域におけるエコタウン整備の6地域(白井・印西市、栄町、茂原市、一宮市、いすみ市太東崎、館山市)で調査を実施し(平成20年10月に企画を公募してNPO・大学等の6提案を採択。)、平成21年2月までに調査書を取りまとめる予定。</p> <p>これらの取組は、企画を公募し様々なアイデアを募集して、プロジェクトの地域の担い手としてNPO・大学等を主体的に参加させ、専門家等と連携しながら官民協働により実施し、自立的な里山活動に資するネットワーク形成を進めているところである。</p>

(7)実施体制	<p>平成20年度の取組実施における体制・役割分担</p> <p>千葉の里山・森づくりプロジェクト</p> <p>【広域的プロジェクト】※この部分が、地方の元気再生事業による取組各里山に共通した取組を実施。 実施主体: 千葉県 →プロジェクト推進会議の立ち上がり段階において、プロジェクト全体の自立的な運営を軌道に乗せる取組を実施する</p> <p>取組① 里山活動への参加促進 広域イベント・広報 取組② 里山活動や保全技術の向上 里山ドクター(専門家)派遣・研修 取組③ 循環型里山暮らしの促進 里山モデル住宅・エコタウンの企画書作成</p> <p>⇨ 企業・県民、NPO、行政等の協働によるプロジェクトの自立的な運営を目指す</p> <p>【リーディング事業】 各地域の自然環境等の状況に合わせて個別に里山づくりを実施。 事業候補地として県内16箇所を設定。 実施主体: 「千葉の里山・森づくりプロジェクト推進会議」(H20.6設置、企業・NPO・有識者で構成、事務局は県の経済団体内に設置) →支援者と事業実施者とのコーディネートを行う。</p> <p>支援者 (県民・NPO・企業、行政等) ※資金、人材、物資等を提供</p> <p>推進会議 (事務局: 県の経済団体内に設置)</p> <p>参画応募</p> <p>参画応募</p> <p>事業実施者 (県民・NPO、企業、行政等)</p> <p>⇨ 官民協働による自立的な里山活動のネットワークの形成が進められている。</p>	<p>取組の実施を踏まえた反省点</p> <p>プロジェクト全体の自立的な運営を軌道に乗せるため、以下のとおり、企業・NPO・行政等多様な主体の連携・協働によるネットワークづくりを進めた。</p> <p>取組①: 里山活動への参加促進(千葉県と企業・NPO・自治体等とで連携・協働) 広域イベントについて、プロジェクトの担い手となる企業や地域のNPO等を主体的に参画させて、地元自治体と連携しながら開催した。また、里山保全活動にたずさわるデザイナー、映像作家との協働によりポスターや映像作品等を作成し、里山活動への参加促進のための広報を行なった。</p> <p>取組②: 里山活動や保全技術の向上(千葉県がNPO等地域の担い手を育成) 里山ドクターについて、プロジェクトのリーディング事業参加団体の要請に応じ、リーディング事業実施地域に派遣し、取組の熟度を高めるとともに、各地域の参加団体が地域のプロジェクトの担い手として自立的に運営を行なえるよう育成に努めた。</p> <p>取組③: 循環型里山暮らしの促進(千葉県とNPO・大学等とで連携・協働) 里山モデル住宅、里山エコタウンの企画書作成について、企画提案を公募し、採択されたNPOや大学等を地域のプロジェクトの担い手として主体的に参画させて、専門家等と連携しながら千葉県との協働により企画書の作成及び調査を実施している。</p> <p>⇨ 官民協働による自立的な里山活動のネットワークの形成が進められている。</p> <p>※ただし、プロジェクトの自立的な運営を行なうためには、リーディング事業においてさらなる企業の参加が必要なため、千葉県としては、来年度以降、企業を中心としてプロジェクトの参加促進を図る予定である。</p>
---------	---	--

(8)取組により得られた成果	<p>○成果1→リーディング事業の実施里山数(選定された事業の実施箇所数)</p> <p>H19 0箇所</p> <p>H20(実際に得られた成果) 16箇所</p> <p>リーディング事業の実施里山数 16箇所 ・プロジェクト推進会議より、参加団体の募集を行ったところ、質の高い提案が多く集まり、16箇所での事業の実施が決定。 ・その後、各事業実施地域において、企業・NPO・地元自治体・大学等、様々な主体による地域のネットワーク形成が進められ、事業推進に向けた検討会議の開催や広域イベントへの参画等、各々の事業が開始。 ・千葉県は、各地域の事業の主体と連携を図りながら、広域イベントの開催や広報活動等により、プロジェクトをPRするとともに官民協働のネットワークの形成を促進。 ・また里山ドクターを派遣して各地域の事業の取組の熟度を高めるとともに、参加団体の育成を進める等、リーディング事業が円滑に実施され展開されるためのサポートを実施。 ・なお、参加団体の募集について、千葉県や県の経済団体も連携して参加の呼び掛けを実施。</p> <p>○成果2→リーディング事業に参加する企業・NPO・行政等の団体数</p> <p>H19 0団体</p> <p>H20(実際に得られた成果) 100団体</p> <p>リーディング事業に参加する企業・NPO・行政等の団体数 100団体(見込み) ・プロジェクト推進会議より、参加団体の募集を行ったところ、企業・NPO・地元自治体・大学等、当初50団体による事業の参加が決定。 ・その後、リーディング事業の検討会議や広域イベントへの参画等を通じて、参加団体が順次増加しており、まもなく合計100団体以上が参加する見込み。 ・千葉県は、各地域の事業の主体と連携を図りながら、リーディング事業が円滑に実施され展開されるためのサポートを実施。 ・なお、参加団体の募集について、千葉県や県の経済団体も連携して参加の呼び掛けを実施。</p>	<p>H20(当初予定していた目標) 10箇所</p> <p>H20(当初予定していた目標) 100団体</p>
----------------	--	--

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<p>①広域イベントの開催について、地域のNPO等もイベント参画者として主体的に参加させて、プロジェクトの地域の担い手として自立的な協働ネットワークのシーズが現れている。来年度以降、さらに実践的な里山活動のネットワークを県域を越えて拡大していく。 また、広報活動について、本プロジェクトには、企業、NPO等を中心に100団体以上の参加があったが、プロジェクトの自立的な運営を行なうためには、さらなる企業の参加が必要である。来年度以降、企業を中心に参加促進を図るため、一層積極的な広報を展開する。 ②里山ドクターについて、今年度は、地域の参加団体のニーズに合わせた分野の専門家を派遣してきた。来年度は、今年度の取組を踏まえながら必要とされる専門家の分野を整理した上で、さらに他のリーディング事業実施地域にも派遣を行なっていく。また来年度以降、参加団体と専門家との間で形成されたコネクションを活用して専門家のネットワークを拡げていき、さらに様々な分野の取組について里山ドクターを派遣していく。 ③里山モデル住宅、里山エコタウンについて、企画書を平成21年2月までに作成する予定である。来年度以降、リーディング事業として事業実施者の公募を行なう。 ④本プロジェクトは、実施の初年度に当たる今年度において、100を超える企業・NPO・行政等の団体が参加する取組に成長し、多様な主体の協働によるネットワークの形成が進められている。来年度は、これらのネットワークによる自立した里山循環システムの構築の実現化に向けて、特に事業の自立に向けた収益モデルを構築するため、里山管理の際に発生する竹材や間伐材の現実的な活用方法、普及方法(産品や燃料としての活用)等についての研究・検証を進めていきたい。その際、今年度企画書を作成し、来年度実施を予定している里山モデル住宅・里山エコタウンの事業とも連動して取り組む予定である。</p>	
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>千葉県は、プロジェクトの自立的な運営を軌道に乗せるため、平成20年度の取組の成果を踏まえながら、「広域イベントの開催」、「里山ドクターの派遣」等を行い、里山移住・定住のモデルプランを提示し、リーディング事業に活用する。また、新たに「広域的に展開するプロジェクト」として、平成21年度、「里山資源循環の促進」の取組を地方の元気再生事業の取組として実施する予定である。</p> <p>1 里山資源循環の促進 ① 千葉紙普及プロジェクト(平成21年度) 森林整備により発生した間伐材等から紙を製造・加工し、環境調和型製品として、県内企業や行政等での普及・活用を図る。 ② 竹製品流通プロジェクト(平成21年度) 荒廃した竹林から伐採した竹等を活用して、箸等の製品化を行い、流通を図る。 ③ 森林燃料化プロジェクト(平成21年度) 間伐材や竹をチップ化・ペレット化し、農業や里山での生活、行政等において燃料として活用するなど、燃料活用サイクルをつくる。</p> <p>④ 里山農林業プロジェクト(平成21年度) 上記①～③のプロジェクトの実施状況を踏まえ、企業、県民等が出資して法人を設立し、地元農家等の協力を得ながら、収益性のある農林業を行うことを検討する。 また、食糧自給の向上、担い手の確保、農林業再生及び二酸化炭素の吸収源確保等の諸問題について、モデル地域を設定し、総合的に解決策を検討する。</p> <p>2 里山活動への参加促進 広域イベントの開催(平成21年度) ・平成20年度の取組の成果を踏まえながら実施。</p> <p>3 里山活動や保全技術の向上 里山ドクターの派遣・里山活動研修の実施(平成21年度) ・平成20年度の取組の成果を踏まえながら実施。</p>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>[リーディング事業] ・プロジェクトへの参加団体(支援者・事業実施者)の募集。 ・各リーディング事業の実施地域において、検討会議等を開催。 ・里山モデル住宅・里山エコタウンの企画書を提示して、事業実施者の参画を募集。 [広域的に展開するプロジェクト] ・プロジェクト推進会議の立ち上がり段階において、プロジェクト全体の自立的な運営を軌道に乗せるため、引き続き以下の事業を実施。</p> <p>1 里山産業クラスター形成プロジェクト ① 里山産品創出プロジェクト(平成21年度) ・実施主体:千葉県(企業・NPO・大学・研究機関等と連携) ・里山荒廃の主因となる”竹”や里山管理で発生する間伐材等を加工し、繊維を活かした紙・工芸品・民芸品や、竹箸・竹肥料・竹炭等の竹製品などを製作して都市住民に普及するよう、企業の流通チャンネルの活用等、様々な方策を検証するため、専門家等による検討会議を設置。平成22年度以降の事業実施者の募集に示す企画書を作成。 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定額:300万円)]</p> <p>② 森林燃料化プロジェクト(平成21年度) ・実施主体:千葉県(企業・NPO・大学・研究機関等と連携) ・竹や間伐材等をチップ・ペレット化して、都市住民が田舎暮らしを行なう際の生活シーンや企業の環境保全に関する取組においての活用等、発生から灰(土壌改良剤等)の活用に至るまでの燃料活用サイクルの流通システム等を検証するため、専門家等による検討会議を設置。平成22年度以降の事業実施者の募集に示す企画書を作成。 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定額:300万円)]</p> <p>③ 新しい里山空間の創出(平成21年度) ・実施主体:千葉県(自治体・企業・NPO・大学・研究機関等と連携) ・人と自然が調和・共存した循環型の里山ライフスタイルの創出と普及を目指し、具体的なモデル地域を設定して専門家等による検討会議を設置。平成20年度に実施した「里山モデル住宅整備プロジェクト」「里山エコタウン促進プロジェクト」により作成された企画の実施と上記①、②事業成果を有機的に連動させて、自立的で持続可能な地域づくりの実現性について検証。 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定額:400万円)]</p> <p>2 里山活動への参加促進 ①広域イベントの開催(平成21年度) ・実施主体:千葉県(企業・NPO等と連携) ・企業・NPO等のネットワークについてさらに県域を越えて構築していくため、平成21年度は、広域イベントの対象地域を、①東京湾岸地域(京葉臨海地域～東京・神奈川の対岸地域)②北総地域(東葛飾地域～千葉ニュータウン・印旛沼周辺・成田・佐倉～上流域を含む利根川流域等)まで、さらに拡大して実施。 ②里山活動への参加促進のための広報(平成21年度) ・実施主体:千葉県(企業・NPO等と連携) ・さらなる企業参加の拡大を目指し、各種メディアを効果的に組み合わせながら、一層積極的な広報活動を展開。 「千葉の里山賞」として優れた里山保全活動をイベントの中で表彰するなど、一層のPR活動を展開。 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定額:610万円)]</p> <p>3 里山活動や保全技術の向上 里山ドクターの派遣・里山活動研修の実施(平成21年度) ・実施主体:千葉県 ・今年度の取組を踏まえて必要となる専門家の分野をさらに整理し、他のリーディング事業実施地域にも派遣。また、今年度の取組により形成された参加団体と専門家とのコネクションを活用して、さらに様々な分野へと専門家のネットワークを拡大。 [活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定額:90万円)]</p>

# 千葉の里山・森づくりプロジェクト

(千葉県全域、特に京葉臨海コンビナート地域、北総地域) - 千葉県 -

～企業・県民・NPO・行政等の新たな協働による

里山循環システムの再構築～

平成20年度 地方の元気再生事業  
事業実施調書 参考資料(案)

## ◆主な実施取組の内容◆

取組①: 里山活動への参加促進  
実施主体: 千葉県(企業・NPO・自治体等と連携)  
実施内容・結果:

- 広域イベントの開催(シンポジウム及びフィールドワーク・3箇所)
  - ①京葉臨海コンビナート地域(11月フィールド・ワーク 2月シンポジウム)
  - ②北総地域 (11～12月フィールド・ワーク 1月シンポジウム)
  - ③九十九里海岸地域 (11～2月フィールド・ワーク 12月シンポジウム)
- ⇒ **官民協働の取組により、企業・NPO・地元自治体等の里山活動のネットワーク形成を促進**

### ○里山活動への参加促進のための広報

- ・ポスター、折込チラシ、駅貼、新聞広告による都市部住民をターゲットとした広報。
- ・空港・駅・公共機関等で放映する千葉の里山の魅力を紹介する映像作成。
- ⇒ **都市部に隣接する貴重な生態系に満ちた里山について企業・住民等の理解促進**

取組②: 里山活動や保全技術の向上

- 実施主体: 千葉県  
実施内容・結果:
- 里山ドクターの編成・派遣
    - ・プロジェクト参加団体の要請に応じ、里山ドクターを派遣。
  - 里山活動研修等の実施
    - ・里山ドクターの派遣にあわせた里山活動研修を実施。
    - ・危険防止のための安全マニュアル、里山活動・里山暮らしを促進する里山ガイドブック、里山の理解を深めるための里山読本等を作成予定。



○里山ドクター派遣地域  
白井市・印西市、いすみ市、君津市、南房総市等  
○里山活動研修地域  
白井市・印西市、南房総市、市原市

⇒ **参加団体の取組の熟度を高め、プロジェクトの自主的運営に向けて地域の担い手を育成**

取組③: 循環型里山暮らしの促進

- 実施主体: 千葉県(NPO・大学等と連携)  
実施内容・結果:
- 里山モデル住宅整備プロジェクト
    - ・11月に専門家等による検討会議を設置、官民協働により来年度以降の事業実施者の参画募集に活用するための整備構想を提案する企画書を作成(1地域)
  - 里山エコタウン促進プロジェクト
    - ・10月に企画提案を公募、11月に専門家等による検討会議を設置、官民協働により来年度以降の事業実施者の参画募集に活用するための整備構想を提案する企画書を作成(1地域)
    - ・来年度以降の整備構想提案に繋げるために、10月に企画提案を公募、各地域における整備の方向性、手法等に関する調査を実施(6地域)
  - ⇒ **多様な主体のアイデアを募集し、官民協働の里山活動のネットワーク形成を促進**



○里山モデル住宅実施予定地域  
いすみ市  
○里山エコタウン実施予定地域  
長南町  
○里山エコタウン手法調査地域  
白井・印西市、栄町、茂原市、一宮市、いすみ市太東崎、館山市



広域イベント  
①京葉臨海コンビナート地域  
<フィールド・ワーク>  
・千葉市・袖ヶ浦市・君津市(2箇所)の里山で実施  
・京葉臨海地域の企業の従業員と家族約300名が参加  
<シンポジウム>  
・2月に市原市で開催予定  
・企画の成果と今後の展開について協議  
②北総地域  
<フィールド・ワーク>  
・印西市・白井市の里山で実施  
・千葉ニュータウン住民等約100名が参加  
<シンポジウム>  
・1月に印西市で開催、約600名が参加  
・都市部住民に里山の素晴らしさをPR  
③九十九里海岸地域  
<フィールド・ワーク>  
・一宮町の海岸で実施、地元サーファー等約100名が参加  
<シンポジウム>  
・12月にいすみ市で開催、約200名が参加  
・海岸環境の保全のあり方を協議



## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

取組の成果: 里山保全活動のリーディング事業の実施里山数 0箇所→16箇所、  
リーディング事業に参加する企業・NPO・行政等の団体数 0団体→100団体

(H20) 官民協働の里山活動ネットワークの形成を促進

今後の展開: ○(H21) 里山活動のネットワークの県域を越えた拡大、企業の参加促進、

- (H21) 地域の担い手の自立促進
- (H21) 里山循環システムの再構築の実現化に向けた竹・間伐材の活用・普及方法の研究・実証実験の展開

(H22～) 企業・県民・NPO・行政等、多様な主体の協働によるプロジェクトの自主的な運営